

令和元年度 事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日 平成 31 年 4 月 15 日

事務事業名: 健康診査・がん検診事業. 事業区分: 新規/継続, 単独/補助, 補助. 事務事業No: 010202000334. 所属課: 健康推進課. 事業期間: 単年度繰返し (昭和58年度~).

(1) 事務事業の概要. ①事務事業の概要 (事務事業の全体像): 市民の健康寿命の延伸を旨とし、生活習慣病の予防及び疾病の早期発見・早期治療を目的に各種健診を実施する. ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順: がん検診推進事業補助金、健康増進事業に係る感染症予防事業費補助金、茨城県市町村がん検診受診率向上事業補助金.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. ①手段 (担当者の活動内容): 健診日程や会場を調整し、健診機会を確保. ②対象 (誰、何を対象にしているのか): 胃、大腸、肺がん、肝炎検査: 40歳以上、前立腺がん検診: 50歳以上男性、レディース検診: 20歳以上、骨粗鬆症: 40~70歳 (節目) 女性、口腔がん検診: 飲酒喫煙者. ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか): 自分の健康は自分で守るという意識を高め、健診受診習慣の獲得および、健診受診による疾病の早期発見・早期治療につなげる.

(3) 投入量 (事業費) の推移. 国庫支出金 千円 144, 県支出金 千円 1,800, 地方債 千円 0, 使用料・手数料 千円 0, その他 千円 3,101, 一般財源 千円 43,114, 事業費計 (A) 千円 48,159. 正規職員従事人数 9.00人.

30年度事業費 実績 (千円) 08 報償費 86, 11 需用費 46, 12 役務費 696, 13 委託料 56,285. 01年度事業費 予算 (千円) 11 需用費 145, 12 役務費 395, 13 委託料 55,262. 合計 57,113.

(4) 当該年度の実施内容. 01年度の事業内容, 02年度の事業内容, 03年度の事業内容. 主要事業: 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	健康診査・がん検診事業	事務事業No.	10202000334	所属課	健康推進課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	がんを早期に見出し治療することにより、がんによる死亡者の減少および医療費を削減する。乳・子宮がん検診においては、がん発症の多い年齢の女性に対して無料クーポン券を発行し、受診につなげる「女性特有のがん検診推進事業」が平成21年度に開始。H28より「新たなステージに入ったがん検診総合支援事業」に名称変更。平成30年度は「がん検診受診率向上事業」として、50代への胃がん検診無料クーポンや、30代へのレディース検診受診勧奨を行い、受診へのきっかけづくりに取り組んだ。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	該当年齢以外の方から受診の要望がある。 医療機関で受診したいという要望がある。 休日の健診や託児に関する要望がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	<p>改革改善を行う</p> <p>受診率の向上に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>50代の過去3年間胃がん検診未受診者を対象に、胃がん検診無料クーポンを配布、受診の動機づけとする。</li> <li>申し込みの形式に関わらず、40歳以上の申込者・受診勧奨対象者には大腸がん検診の容器を同封し、動機づけとする。</li> <li>30歳、35歳、39歳、61歳の方全員に受診票を送付し、検診受診の動機づけとする。</li> </ul>

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	<p>①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 結びついている</p> <p>総合計画で掲げる「健康づくりの推進」に結びつく事業であり、疾病の早期発見の為、受診しやすい体制整備につとめている。</p>
目的妥当性	<p>②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である</p> <p>健康増進法に基づく事業であり行政介入は妥当である。疾病の早期発見・早期治療により医療費削減を図る。</p>
有効性	<p>③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある</p> <p>受診者数やクーポン券の利用率が減少している。受診率向上として、PR活動（HP、広報活用、健康推進員の活用）、検診日程の検討や医療機関受診の拡充を行い、受診しやすい環境づくりを行う。</p>
有効性	<p>④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 影響有</p> <p>疾病の発見が遅れることで医療費が高額となり、市民の医療費負担の増加が考えられる。また、結核の早期発見・治療が遅れることにより、周囲への感染拡大の可能性がある。</p>
有効性	<p>⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む））</p> <p>（他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 余地がない</p> <p>疾病の早期発見・早期治療が遅れることは、市民の生活の質を低下させることとなる。</p>
効率性	<p>⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない</p> <p>業務時間については、受診票発送業務や健診受付業務等の業務委託が可能である。しかし、事業費については、健診委託料と役務費のみである。国保と連携を図り郵便料も市内特別割引を適用したりと削減余地はない。</p>
公平性	<p>⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である</p> <p>健康カレンダー、広報、HP、他の事業を通じて周知。申し込みも随時受付。対象者には個別通知をしている。受診者の利便性を考慮し、どの地区でも受診可能としたり医療機関健診を実施するなど機会を確保し公平である。</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																					
<p>①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>胃・大腸・前立腺がん検診の受診者数が増加した。今後も各クーポンを受診のきっかけとし、継続受診につながるよう取り組んでいく。</p> <p>50代の胃がん検診受診率は4.7%から7.7%に上昇した。大腸がん検診では、新規受診者が600人であった。</p> <p>レディース検診では、30代への受診勧奨効果から、30代の受診率が16.2%から21.8%に上昇した。</p>																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																					
<p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止</p> <p>→ <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う →</p> <p>→ <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>（複数回答可）</p> <p><input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善</p> <p><input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果																					
<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニドック・住民健診について、次年度は50歳に胃がん検診クーポンを実施し、検診受診のきっかけづくりとしていく。また、ミニドックでは今後予約制を導入することを検討する。</li> <li>レディース検診では、Web予約を開始したり託児可能な日程を設けたりして、より受診しやすい環境を整えていく。</li> <li>骨粗しょう症検診はすべてを医療機関健診とすることで、市民病院の活用と、精密者の事後フォローがいきわたるようになる。</li> <li>口腔がん検診では、受診者枠拡大を目指してより多くの対象者が受診できるよう努めていく。</li> </ul>	<p>成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥</p> <p>コスト削減優先度評価結果</p>																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
<p>課長確認後の評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B</p> <p>A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止</p> <p>B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出</p>	<p>確認欄</p> <p><input type="checkbox"/></p>